

# 令和5年度 事業報告

## I 概況

我が国の令和5年度の経済は、コロナ禍の3年間を乗り越え、改善しつつありました。30年ぶりとなる高水準の賃上げや企業の高い投資意欲など、経済には前向きな動きが見られ、デフレから脱却し、経済の新たなステージに移行するチャンスを迎えていました。他方、賃金上昇は物価上昇に追い付いておらず、個人消費や設備投資は力強さを欠き、再びデフレに戻るリスクもあります。

また、全国的に構造的な生産年齢人口の減少が続いている中、呉市も高齢化率が36.3%に達し、少子高齢化対策が喫緊の課題となっているため、政府の方針にもあるとおり高齢者世代を活用する施策の強力な展開が望まれます。

このような中、平成30年度の西日本豪雨災害後に回復した受託事業は、請負・委任契約から派遣契約への移行と就業会員の高齢化や減少により前年度を下回っております。

会員数の動向につきましては、減少に歯止めがかかっておりましたが、令和4年度から、企業の定年延長や再雇用制度の整備浸透などの影響が出てきたものと思われます。

今後ますます進行する超高齢化社会における社会的需要に応じて行くためシルバー事業の強化・充実に向けて、体制の整備とともに営業・企画力の底上げを図る必要があります。

### ○ 事業実績の推移

区 分		年 度	令和	令和	令和	令和	令和
		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
会 員 数 (人)		665	665	669	633	602	
受 託 事 業	受 注 件 数 (件)	5,237	4,849	4,786	4,618	4,337	
	就 業 実 人 員 (人)	512	481	477	459	443	
	就 業 率 (%)	77.0	72.3	71.3	72.5	73.6	
	契 約 金 額 (千 円)	318,312	303,332	297,305	291,313	283,226	
	就 業 延 人 日 (人 日)	59,890	56,618	55,362	53,758	50,995	
派 遣 事 業	受 注 件 数 (件)	13	16	21	21	25	
	契 約 金 額 (千 円)	16,400	28,845	29,815	37,650	40,559	
	就 業 延 人 日 (人 日)	2,199	3,463	3,708	4,771	5,332	

※ 派遣事業は公益社団法人広島県シルバー人材センター連合会の事業です。

以下、主要事項について報告します。

## 1 会員の拡大

会員の拡大はシルバー人材センター（以下「センター」という。）の大きな課題の一つであり、減り続けている会員数に歯止めをかけるため、各種講習会の実施をはじめ広報、街頭キャンペーンによる啓発活動を推進し会員の勧誘に努めました。

今年度も、市役所本庁舎1階ロビーほか各市民センターフロアへ「センター広報チラシ」を配置するとともに、令和4年度に続き「就業会員パネル展」を開催するなど、市民の方への広報に努めました。

今年度の入会者は87人、退会者は118人で、年度末の会員数は合計602人となり前年度末より31人減少しました。

## 2 就業開拓及び就業率の向上

就業開拓は、会員の拡大とともにシルバー事業の維持発展のための大きな柱です。職員が事業所を訪問し、仕事の依頼を行いました。また、就業率の向上については、就業に必要な知識、技能を習得するための各種講習会を開催し、幅広い職種を選べるよう就業機会の拡大に努めました。

就業率は、73.6%で前年度より1.1ポイント増加しております。

## 3 独自事業の推進・開拓

独自事業については、「再生自転車の販売」事業を令和4年度から廃止したため、新たな事業を開拓し独自事業の創生を図るため、研究・検討を行いました。

## 4 安全・適正就業の推進

安全就業は、センターにとって最も優先する課題です。

今年度も安全管理委員会を開催し、意見交換を行いました。また、安全管理委員と安全対策推進員等による就業現場への安全パトロールや各職群別に安全就業講習会を実施し、会員の安全就業に対する意識の高揚を図り、重篤事故等の防止に取り組みました。

また、会員の事故防止に対する認識を啓発するため、安全標語やヒヤリ・ハット体験事例の募集を通じて情報提供等を行い、作業別安全就業基準の策定に着手しました。

今年度の事故状況は、傷害事故4件、損害事故14件発生しました。前年度に比べ16件減少しております。

今後、安全就業について、より一層取り組みを強化し、事故防止に努力します。

適正就業については、法令遵守の徹底とともに、ローテーション就業の促進、長期継続就業の解消に努め、就業の適正化を図ります。

## 5 研修会・講習会の開催

センター会員の仕事に対する地域社会の信頼確保には、知識、技能の習得と向上は欠かすことの出来ない要件です。

会員の技能習得と新規会員の勧誘を目的として、「草刈機取扱い講習会」と「剪定講習会」を開催し、呉市の広報紙「市政だよりくれ」で募集した受講生にはセンター加入を勧めました。

会員の技能向上のため、「パソコン・スマホ指導者養成講座」を実施しました。

また広島県シルバー人材センター連合会主催の高齢者活躍人材育成事業による技能講習会に会員が参加しました。

## 6 労働者派遣事業の推進

シルバー事業の「臨時、短期、軽易」な仕事という基本に立ち返り、受託事業の自主点検による適正就業を遵守するとともに、業務の拡大に努めました。

## 7 福祉・家事援助サービスの推進

一人暮らしや、高齢者世帯が年々増加し、また、女性の就労促進が課題となっている現在、福祉、家事援助サービス及び子育て支援等の業務の拡大や、それらに習熟した女性会員の拡充が重要です。

今年度も前年度に引続き、市が主催する「呉市生活支援・介護予防サービス体制整備推進協議体」に参加しましたが、受注実績は13件と思わしくなく、引き続き周知に努めます。

## 8 普及啓発活動の推進

毎年10月の「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」に合わせて、呉駅前周辺やゆめタウン前において街頭キャンペーンを実施し、チラシ・パンフレット等を配り普及啓発活動を行いました。

また、呉市の広報紙「市政だよりくれ」への記事掲載やセンターの広報紙「呉シルバーだより」を発行するなど広報活動に努めました。

7月には呉医療センター附属呉看護学校の地域実習に協力し、学生と公園清掃就業会員が行動を共にすることで、センターの理解に努めました。

9月には呉海軍墓地合同追悼式に向けての長迫公園（旧呉海軍墓地）の清掃・剪定奉仕活動を行い、シルバー事業の普及啓発活動に努めました。

## 9 職業紹介事業の実施

発注者から求人を受け付け、発注者と協議を重ねる中で労働者派遣事業契約を締結したため、実績はありませんでした。